

コミュニティ・スクール春日市立白水小学校

校長通信

「輝き」



第5号

令和5年9月15日

校長 田中清美

<白水小学校の教育目標> 『自立 貢献 挑戦』

～「自分は何ができるのか」を考え実行することができる子どもの育成～

8月25日 前期後半が始まりました。

8月25日、前期後半が始まりました。あいにくの小雨でしたが、子どもたちが「おはようございます」と元気なあいさつをして、登校する姿をみると、いよいよ前期後半が始まると気持ちが引き締まりました。やはり、学校には、子どもの姿が必要だと感じます。

教室では、担任から子どもたちへ「この日を心待ちにしていた」というメッセージが書かれていました。子どもたちは、笑顔で久しぶりの再会を喜び、談笑する姿が見られました。



8月25日の様子



地域の方の支援 ～地域連携カリキュラム～

4年生の総合的な学習の時間「地域のごみを減らし隊」の学習で、上白水自治会長八尋さん、白水ヶ丘自治会長吉川さんから、自治会の取組についてお話を聴きました。その中で、自治会長の「『ポイ捨てをしてはいけないと思う心』『相手の気持ちを思って行動する心』を子どものうちに育み、大人になっても持ち続けて、次の世代の子どもたちにも伝えてほしい」という願いを知りました。学習後、子どもたちは、実際に地域に出でゴミ拾いや清掃を行いました。子どもたちの感想の中には、「何気なく歩いている通学路に、燃えるゴミだけではなく、危ない燃えないゴミもたくさんあってびっくりした。」「いつも地域の方が清掃してくれていることがわかった。」「すれ違った人に『ありがとう』と言われて嬉しかった。」などとありました。今回感じた思いを忘れず地域や周囲を大切に作る行動につなげてほしいです。

お話をされる自治会長さん



2年生の畑づくりをしてくださる名人さん



名人さんを見守る2年生

2年生の大根の種まきの準備のために、野菜名人さんが畑づくりに来てくださいました。残暑厳しい中、大変な作業をありがとうございました。

あいさつスローガン「きっかけ 挑戦 自信」

相手の目を見て、自分から笑顔で
あいさつをする白水小学校へ

運営委員会の取り組み



運営委員会のテレビ放送

9月の全校朝の会で、運営委員会が「あいさつ」についてテレビ放送を作成し、呼びかけを行いました。主な内容は、目指す姿のお手本、あいさつの意味、あいさつスローガン「きっかけ 挑戦 自信」 あいさつ運動についてでした。運営委員会の子どもたちは、6月末から昼休みに話し合いを行ってきました。壁にぶつかりながらも、自分たちで考えることの大切さに気づき、自分たちで解決してきました。とても頼もしい子どもたちです。このテレビ放送を見て、運営委員会の思いを受け止め、全校児童が、相手の目を見て、自分からあいさつをする姿を期待したいと思います。あいさつのきっかけをつかみ、あいさつに挑戦し、自信を得てほしいです。

学校運営協議会での報告

①計画の話し合い（スローガンの決定）

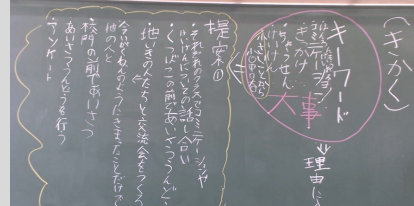


目指す姿からスローガンの決定

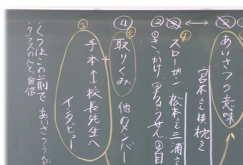
②企画作り



企画づくり～テレビ放送での呼びかけ、あいさつ運動の実施



③テレビ放送作り（計画）



③テレビ放送作り（依頼）



③テレビ放送作り（準備）



テレビ放送づくり 計画 → 依頼 → 準備

上の写真は、先日の学校運営協議会で児童運営委員会が「あいさつの取組」について発表したときに使用したスライドです。これまでの話し合い等の経過をわかりやすく伝えてくれました。学校運営協議会では、西中学校ブロックのテーマ「あいさつ」について、それぞれの立場でできることについて話し合いを行ってきました。子どもからの発表の後、学校運営協議会では、子どもたちへの励ましと期待の声が寄せられました。子どもたちの取組と合わせ、ご家庭でも「あいさつ」に取り組んでいただければと思います。よろしくお願いいたします。なお、子どもたちが制作したテレビ放送は、後日お見せできるようにしたいと考えています。

保護者・地域の皆様へ

夏休み中は、ラジオ体操、寺子屋、夏祭り等で大変お世話になりました。また、9月の学習参観にお越しいただきありがとうございました。前期後半も感染症対策を取りながら、子どもたちが楽しく、安全に安心して学校生活を送れるように教職員一同支援をしていきます。ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。